

久美浜町でレンタカウ活躍中

当場では、平成13年から耕作放棄地の景観保全や獣害防止のために、希望される府民に牛の貸出し（レンタカウ）を行っています。今年、7月25日から京丹後市久美浜町佐野の荒廃農地（約1ha）で、2頭の放牧を開始しました。

レンタカウは、利用者から「牛さん、頑張って食べてや」と期待の言葉を受け、放牧場に放たれていました。

今後、レンタカウが荒廃農地保全に活

躍できるよう、定期的に放牧場を訪問し、適切な飼養管理を支援します。



レンタカウに声をかける利用者

放牧場に放たれたレンタカウ

畜産センター 碓高原牧場

新京地どりの発育及び解体調査を実施

当センターでは、昨年度に「京地どり生産・流通推進協議会」と連携して、新「京地どり」の鶏種（横斑プリマスロック♀×大型軍鶏♂）を決定しました。新しい鶏種は、従来の飼料ではエネルギーが過剰となり、脂肪が腹腔内に多く付きます。このため、エネルギー量の異なる飼料を与え、発育及び解体調査を行いました。

その結果、雄では、従来よりエネルギーが約9%低い飼料を給与した場合でも

発育への影響はなく、腹腔内脂肪量は少なくなることが分かりました。

現在、雌の調査を継続中であり、新「京地どり」に適した飼料を決定します。



腹腔内脂肪の取り出し

脂肪量の調査

畜産センター

タスクチームによる飼料用稲（稲 WCS 用）の生育調査

当センターでは、酪農家等のニーズに応じた高品質な稲 WCS を生産するため、南丹、中丹東、中丹西及び丹後農業改良普及センターとタスクチーム※¹を組み、各地域（6 か所）で栽培試験をしています。

試験ほ場では、高品質の指標であるタンパク質含量が高い時期に収穫できる早生品種（1 品種）や糖分が多く含まれている品種（4 品種）を栽培しており、各品種毎の生育状況を調査したところ、いずれの品種も生育は順調でした。

今後、収穫時と 2 か月発酵させた後の 2 回の栄養成分分析を行い、各農家へ情報提供することで、適切な栽培技術によ

る安定生産を支援します。

※1 タスクチーム：研究機関と普及組織が連携して地域の重要課題を解決する活動

※2 稲 WCS(ホールクロップサイレージ)：イネの穂(粃)と茎葉部を同時に収穫、貯蔵し、乳酸発酵させたもの



草丈や茎数等を測定し生育診断
(京丹後市)



葉色も良く生育は順調
(京丹波町)

畜産センター

高校生が乳牛の体型審査などを体験

京都府学校農業クラブ連盟主催の「緑の学園」は、農業系の高校生が農業体験等を通じて農業を正しく理解し、農業の担い手としての意欲を高めることを目的に、毎年夏休み期間中に開催されています。

7月27日、当センターが担当する「畜産部門」を開催し、府内4校から21名の高校生が参加しました。

生徒達は、実習牛4頭の体型の優劣を判断する審査競技や牛乳を使ったアイスクリーム作りに熱心に取り組み、審査技

術を競う体型審査※の優秀者には表彰状が送られました。

今後も、実習などを通じて畜産への理解を深めてもらい、新たな担い手が育つよう支援していきます。

※体型審査：乳牛が高い泌乳能力を維持するには、健康で骨格のしっかりした体型と付着・形状のよい乳房、丈夫な肢蹄等が必要。体型審査は体の各部位を評価し、泌乳能力を推定する手法。

畜産センター